



谷藤EYE通信

医療法人泰明会 谷藤眼科医院 盛岡市前九年二丁目2-38

URL <http://www.5d.biglobe.ne.jp/~tanieye/>

平成16年
4月・5月・6月号

No.11

Tel : 019-646-2227

Fax : 019-645-3811

角膜移植を再開しました (アイバンクと角膜移植)

院長 谷藤 泰寛

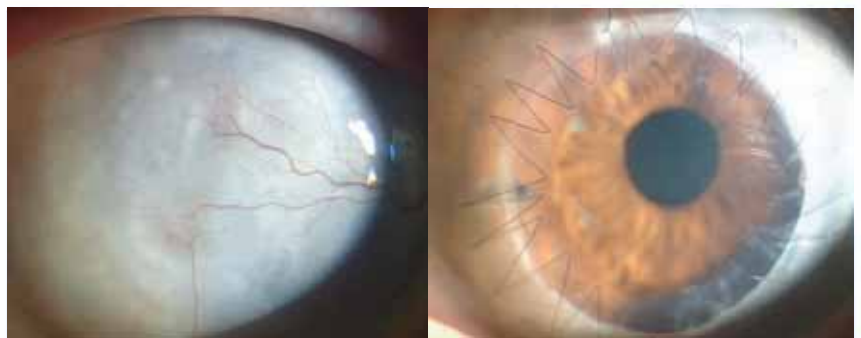
角膜とは直径約24mmの眼球の最も前にある透明な時計皿状の透明な膜です。厚さは約0.5mm、直径は11mmで、この角膜の後ろに、眼内の水を満たして、目に入った光の焦点を合わせるための屈折の大部分が、この角膜の部分で行われます。従ってこの角膜の混濁や変形が視力に大いに影響を与えます。角膜移植とは感染症、外傷、手術及び遺伝的素因で角膜に混濁や変形が生じて失明状態になったときに行われる手術のことです。

日本では1997年6月の臓器移植法成立以来、既に6年を経過していますが「臓器移植をする場合に限って、脳死を人の死とする」と言うわかり難い内容もあってか、この法律の成立の余波をまともに受けたのが、腎移植とアイバンクであるといわれ、ともに提供者が激減しました。これは一般の方が脳死状態からの移植と、心臓死からの移植を混同しているために起こったことと思われませんが、眼球の提供は亡くなったご本人が承諾していなくとも家族の同意があれば可能となっています。生前に提供の意思があつてアイバンクに登録されていても家族の承諾が得られない場合や、連絡がない場合には本人の尊い提供の意思が生かされないこととなります。

現在日本では、年間900人前後の献眼者から1,500眼ぐらゐの角膜移植が行われていますが、過去10年間その数は増加することはなく、全国では5,000人以上、従って県内では数百人の待機患者さんがいるといわれています。

私のところでもここ数年間は角膜が得られないため、止むを得ず東京の病院に紹介をしたりして、皆様にもご迷惑をかけていたわけですが、04年度から広島県呉市の著名な眼科医でライオンズクラブの会員である木村亘先生とスタッフの方のご協力の下にオーストラリアの角膜を入手できることになり、1月中には3名の方に移植を行うことができました。労働災害や角膜ヘルペスや感染症などで失明され、中には10年近くもの間手術を渴望されていた方もありましたが、皆視力を回復され、非常に喜んでおられます。

これにはオーストラリアのライオンズクラブがアイバンク事業を行っていて、日本向けに良質の角膜を融通する態勢を常時備えているために可能となったことです。しかし途中の輸送や日数、費用の点もあり、出来れば国内で十分な角膜の供給が出来ることが理想的ではありますが現状では困難な状況です。今後とも皆様のアイバンク事業へのご理解をお願いしたいと思います。



角膜移植手術前

角膜移植手術後

「眼底出血」の治療に対する新しい試み

副院長 姜 和哲

今年に入ってたくさんの雪が降り、寒い日々が続きましたが、最近はその寒さも和らぎ、やっと春らしくなってきました。

さて、今年に入って当院に「眼底出血」で来院される患者様が増加しています。「眼底出血」といっても種類はさまざまですが、私が患者様皆さんにお話しするものは、ほとんど動脈硬化によるものを指しています。正式には「網膜静脈閉塞症」といいますが、その治療法としては、出血が増悪しないよう最小限にとどめるため、蛍光眼底造影で眼底の状況を把握し、内服やレーザー治療を主体に行います。しかし、出血がひいても、ものの見る中心部にむくみが残る（黄斑浮腫）ことがあります。これが持続すると、視力改善が悪く、逆に低下してしまう患者様もいらっしゃいます。

この黄斑浮腫に対する治療法は、なかなか難しく、近年では大きな手術療法の有効性が報告されていますが、侵襲が大きく、患者様にかかる負担が問題点となっています。

そこで、当院では、昨年より網膜静脈閉塞症の黄斑浮腫に対する治療法として、**ステロイドを眼内に注入する硝子体内注入術**（薬物療法）を施行しております。

平成15年7月から平成16年1月までに当院で9人の患者様に施行いたしましたが、すべての患者様に術後早期よりこの黄斑浮腫の改善が認められ、そのうち視力が改善（1段階以上）した患者様は8人（88.9%）でした。当然この結果には、網膜静脈閉塞症の発症から治療開始までの期間が短ければ短いほど改善する率が高いことも裏付けられています。このように、手術療法と比べて侵襲が少ないということも利点ですが、使用する薬物のステロイドには、**眼圧上昇**という副作用があります。今回当院で治療を受けた患者様のうち、2人（22.3%）の方に有意な眼圧上昇が認められました。

眼圧管理には十分注意が必要であるものの、当院では現在のところ網膜静脈閉塞症の黄斑浮腫の改善に有効である治療法と考えております。感染予防のため、基本的には手術室（約2分）で行い、短期入院していただいております（詳細に関しては、我々スタッフにご相談ください）。これからも私たちは新しい治療法を探求し、少しでも患者様皆さんの視機能向上を目指していきたくて考えております。

溪流釣り

看護師主任 相原 栄子

溪流釣りが好きで、休みになると川へと車を走らせます。車から降り山で深呼吸をすると、肺のすみずみまで新しい空気で満たされます。そして時々聞こえてくるいろいろな鳥の声、山一面のもえぎ色、所々にうすもも色の山桜が……。一瞬絵画の世界を思わせるような感じさえします。福寿草、カタクリ、イチリンソウ等の草花も咲きほこっています。

今年は昨年よりも、更に水量が少ないようです。胴長をはいて川の中へ、そして竿をたれるともうそこは自分も自然の一部と化していきます。川のせせらぎの音、小鳥のさえずり、そして山の香りを……自然からの贈り物を求めに時間をみても川へと車を走らせています。

先日仕事の帰り、育児時間で少し早く帰った看護師さん親子に出逢った時の事、「今お帰りですか?」、「ええ」、「お疲れ様」、「おやすみなさい」、とお互い挨拶を交わしました。

腕の中のお子さんが私に向かって一生懸命に手を振っています。ママを見て取り、感じ取り“お別れ”がわかったのでしょうか。まだお誕生日に遠い赤ちゃんがもう社会性を身につけ始めている。私は感動して、思わず佇んでいました。そして凄いなあと思いました。

私達は何時頃から返事・挨拶をしてきた事でしょう。幼かった頃「名前を呼ばれた時は」「大きな声でね」「ハイ!」でしょう。次は祖父母、両親への「おはようございます」～「おやすみなさい」と無邪気の為か張り切ったような、少し得意のような心持ちで出来たように思うけど、大人になると、邪気が孕んでくるのかなかなか難しくなってくるのは、どうしてでしょう。元気な日、沈んだ日、少し恥ずかしかったり、何かを考えてまわりに気が及ばなかったり、タイミングを逸したりと色々な場面はあるけれど、私達の毎日は、挨拶に始まり挨拶に終わります。言葉は心をかよわすものだし、人と人を繋いでくれる。挨拶・返事は短いだけにより大切に思います。

朝、気持ちの良い挨拶が交わせると一日中心が豊かだったり、何気ない会釈にさえ幸福を感じます。下を向いてくぐもった挨拶や、聞こえるか聞こえないような虫の声の返事では、通じない分残念です。

年初めに読んだ本に書いてありましたが、教育現場では“ありがとう”と“どうぞ”は、魔法の言葉(マジックワード)と呼んでいるとか。挨拶、返事も同様この短い言葉の中に魔法のような大きな力、不思議な力が秘められているからなのでしょう。さあ!今日の帰りも、明日も、明後日も気持ちの良い挨拶・返事がしたいものです。

魔法にかかり素敵に毎日を過ごす為に。

影谷園の植物 1. 十月桜

野田坂 伸也様

園の北西隅に2本の桜を近接して植えてあります。1本は白花で“三波川”(サンパガワ)といい、もう1本はピンク花で“十月桜”(ジュウガツサクラ)です。どちらも春・秋の二季咲のはずですが、三波川はこれまで秋に咲いた事はありません。間違った苗を買わされてしまったのか、盛岡では温度が足りなくて咲けないのか、たぶん後者でしょう。

ここに紅白2本の秋に咲く花を植えて、道行く人を驚かせようという企みでしたが、上手くいきませんでした。

(秋咲きの桜としては「冬桜」が有名で、盛岡では大慈寺町のあるお寺にあります。)

十月桜の方は影谷園でも何とか毎年秋にも咲いてくれますが、気をつけて見ないと気がつかない程度で、暖地のようにはなりません。年によっても違い、秋遅くまで暖かい年は比較的多く花がつかます。気温の低い時期に咲きますので、開花期間が長く1ヶ月以上咲いている事もあります。強い寒さにあうと花が凍って崩れてしまいます。十月桜と言う名ですが、私のところに植えてあるのはたいてい11月以降に開花します。昨年はなんと12月末まで咲いていました。ずっと暖かい日が続いて花が凍





結にあわなかったためです。十月桜の秋の花はよくよく気をつけてみないと気づかないほどです。"よく見るとナズナ花咲く垣根かな"を真似て"よく見ると秋の桜や影谷園"と言うのはどうでしょう。

ところで、人でも物でも名前によってイメージがある程度決まってしまうので、どんな名をつけるかと言うのは非常に重要な事です。数年前に庭を作らせて頂いたお家を昨年4月末に訪れた時、台所の脇の縦2m・横1mの大きな1枚ガラスの窓の外に、ピンクの小花の桜が

窓いっぱいを塞ぐように咲いていました。窓枠が額縁になった名画を見るようで、その美しさに私はしばらく呆然として見とれてしまいました。'十月'という名に惑わされていた桜の本当の魅力は春の花にあったのです。人と言えば学歴などに惑わされずに、その人の実力を冷静に判断すると言う事でしょうか。十月桜はあまり大きくなりませんので庭の花木としてもお勧めです。

☆角膜移植を受けられた患者さんの声☆

鈴木 正雄様

今から10年前、平成6年3月3日午前11時頃玉山の芋田で、〇〇建設の道路工事中、岩石に穴を掘りニトログリセリンを入れる作業中、突然爆発し、その粉が両目に入り火傷をしました。現場から一番近い病院に運び込まれ、目を洗い軟膏をつけその日から毎日同じ治療を受け、先生にも大丈夫ですと言われ何となく良くなっていくような気持ちになり、22日間目に包帯をし妻に手を取ってもらい通いました。ある日内科の看護師長さんが、この病院は眼科専門ではないので盛岡の谷藤眼科の先生は名医ですと教えられまして、早速診察して頂き、何故すぐに来ないのかと大変叱られました。

3月29日に入院して治療を受けました。左目は0.7、右目は失明、角膜移植が必要と言われたのです。先生も大変心配してくださって本当にご迷惑をおかけしました。その内緑内障が発生したり、涙腺にチューブを入れたり、白内障など、手術の繰り返しでした。

今年の1月24日、突然角膜が入ったと言う連絡が入り、大変嬉しく、ようやく灯りが見える、これも偏に先生のお蔭と夢見る気持ちでした。1月25日に角膜移植手術をして頂きました。この角膜は、オーストラリアから送ってきたとの事です。3週間入院しまして今は通院しております。移植した目の視力は0.4あります。今まで見えなかった字が見えます。10年前には思ってもみなかった事が、今実現して本当に嬉しい毎日です。家族の者も大変喜び、また近所の方々も良かったと言ってくれます。

先生方また看護師さんたちには親切にして頂き、心より感謝致しております。今後ともよろしく願いいたします。

歳をとって近くの物が見えにくくなる「老眼」は、正視・近視・遠視に関わらず誰にでも起こる老化現象のひとつです。

コンタクトレンズを使用している人が老眼になった場合はどうしたらよいのでしょうか？ こういった場合の対応としては、次のような方法が考えられます。

1. コンタクトレンズと眼鏡の併用

両眼のコンタクトレンズの度数を遠方または近方に合わせ、必要に応じてコンタクトレンズの上から眼鏡を使用します。一日の中で遠方を見ることが多い人はコンタクトレンズの度数を遠方に合わせ、近方を見るときはコンタクトレンズの上から近方に度数を合わせた眼鏡を使用します。近方を長時間見ることの多い人はこの逆に合わせることもできます。

2. 遠方の視力を0.6~0.9くらいの中間距離に合わせ、遠くも近くも“ある程度見える”ようにしておく

この方法で満足がいけばよいのですが、もし見え方に不自由を感じるようであれば、必要に応じて、例えば車を運転するときには遠用の眼鏡を、長時間読書するときには近用の眼鏡を使用します。

3. 片眼のコンタクトレンズの度数を遠方に合わせ、他眼のコンタクトレンズの度数を近方や中間距離に合わせる

片眼ずつピントの合う距離が大きく異なるコンタクトレンズを使用すると、両眼でものを見た場合にバランスが悪く感じたり、立体的なものの見え方が落ちてしまいます。そのため、これは慣れが必要となってきます。

4. 遠近両用のコンタクトレンズの使用

眼鏡のようなかけ外しの煩わしさはありませんが、遠近両用のコンタクトレンズも万能ではありません。遠くも近くもいくぶんぼやけた状態になりますし、また、明るさによって見え方が変化するという問題もあります。

いずれの方法も長所・短所があり、どの方法が良いかは人によって違います。当院でもコンタクトレンズを合わせるときには、老眼になった方にも快適にコンタクトレンズを使用していただけるように、以上のような対応を相談しながら、より満足できる方法を選択できるように努めています。お気軽にご相談下さい。

お知らせ

- * 4月10日（土）日本眼科医会第1回理事会（東京都）：院長出席予定
- * 4月15日（木）～18日（日）第108回日本眼科学会総会（東京都）
- * 4月24日（土）第303回岩手眼科集談会
- * 5月1日（土）～5日（水）米国白内障・屈折手術会議（ASCRS）（サンディエゴ）：
院長出席予定（4月29日～5月7日まで院長不在により副院長のみの診療予定）
- * 5月8日（土）日本眼科医会第2回理事会（東京都）：院長出席予定
- * 6月25日（金）～27日（日）第19回日本眼内レンズ屈折手術学会（福岡市）

※内科診察予定：毎月第2・第4木曜日です

都合により変更になる場合もありますので、診察を受ける患者様は、ご確認の上来院お願いいたします

報告

- * 第302回岩手眼科集談会：平成16年1月24日（バルソビル5階）
参加者：姜副院長（演者）・谷藤院長・村上（ORT）
演題：「網膜静脈閉塞症の黄斑浮腫に対するステロイド硝子体内注入の有効性」
- * 1月17日（土）・3月6日（土）看護師勉強会
- * 1月21日（水）・2月10日（火）・2月24日（火）検査部勉強会
- * 1月30日（金）～2月1日（日）第27回日本眼科手術学会総会（東京）：院長出席